

## カンボジア農民の経済問題に関する一考察 ～コミュニティの自立的発展に向けて～

文学部社会学科 4 年

A0020058 渡辺瑛莉

カンボジアの国民の大多数は農村部に住んでおり、しかも貧困層のほとんどが農村部に居住している。したがって、カンボジアの貧困問題を取り上げるとき、農村部の実情は避けては通れない。また、「経済問題」とは「生業(なりわい)」のことであり、食料や健康、教育といった人間の全般的な活動につながる中核となる部分である。本論文の目的は、カンボジアの農民が日常的に直面している経済問題の現状を明らかにし、それらの問題に対する農民自身による主体的なアプローチやそれを促進するような支援者のアプローチを考察し、そこから見えてきたカンボジアの課題を述べることにある。論文の構成と要旨は以下の通りである。

序章ではカンボジア社会を概観し、特に多くの国民が従事する第一次産業の概況について述べる。カンボジアでは GDP のうち 3 割を第一次産業が占めており、総労働人口のうち 7 割から 8 割が農業部門に携わっている。GDP に占める第一次産業の割合は年々減少してきているが、依然として国民にとって農業の重要性は変わっていない。1 章ではカンボジア農村の概況として、農業の概要、土地分配の概要、農民の生業を概観する。カンボジアの農業は、雨季天水田が主流であり、農民は伝統的に自作農である。その現在の土地所有の基盤となったのが、1989 年前後に行われた土地分配であった。この土地分配の原則は、各村において、「班の農地」を世帯員の数にしたがって各世帯に等しく分配するというものであった。

これらの前提を踏まえて 2 章では、和平調停が結ばれ、市場経済体制へ移行し、私有財産制度が導入された 1990 年代から今日に至るまでのカンボジア農村社会の変容を、小農民の実情にスポットを当てて見ていく。ここでは、変容として、人為的な活動や人口の自然増加による耕作適地と資源の減少、私有財産制導入以降の零細農民・土地なし層の増加と土地所有の格差の拡大、さらに近代技術導入後の影響を取り上げている。また農村社会の実情として富の寡占状態、農民の借金の実情を取り上げている。これらから、90 年代以降のカンボジアの農村で、徐々に富の格差が顕著になっているということが導き出された。次に 3 章では、2004 年の 8 月～9 月に筆者がカンボジアの農村を訪れた際、農民(NGO が支援するコミュニティ協同組合のリーダーたち)にインタビューを行い、どのような経済問題があるか、農民自身が自由に語ってくれた内容をまとめている。ここで筆者が一番注目した農民の経済問題は、米の価格変動に対する農家の脆弱性であった。農民は様々な生業活動に従事しているが、聞き取りを行った村の現状として、農民の主な収入源となっている米作が不安定であることは、農民たちにとって致命傷であった。

4 章では、2 章と 3 章で導き出されたような、カンボジア農民の経済問題を解決するため

の農民自身による主体的なアプローチを実践例とともにみていく。ここでは、持続可能な農業、食糧の安全保障、クレジットへのアクセス、マーケットへのアクセス、資源への共同アクセスを、農民の経済問題の解決のためのアプローチとして取り上げ、カンボジアの事例と他国の事例をみていく。これらのアプローチにとって重要なことは、住民が主体となり、コミュニティの連帯が強化されていき、そのことが発展プロセスにつながることである。終章では、そのような農民主体のアプローチが農民の自己尊厳の回復とコミュニティの自立的発展と密接に結びついていることを確認し、最後に、カンボジア社会におけるコミュニティ形成の課題として、共同で利益を追求するような事業の経験がないことと教育の問題を指摘し、全体の結びとする。

---

<sup>i</sup>カンボジアの農村部で、村人自身によるコミュニティの統合的発展を目指して、地元根ざしたNGOが、コミュニティ開発の中核をなすものとして作ったのがCommunity Cooperative（コミュニティ協同組合）であり、そのリーダーたちは村人による民主的な選挙によって選ばれた人たちで、村の有力者であるというよりは、村人たちの代表と捉えて差し支えないだろう。

#### 主要参考文献

岩崎美佐子・大野和興編著『アジア小農業の再発見』緑風出版, 1998年。

重富真一『タイ農村の開発と住民組織』アジア経済研究所, 1996年。

J・デルヴェール著、石澤良昭監修・及川浩吉訳『カンボジアの農民 自然・社会・文化』風響社, 2002年。

Bhargavi Ramamurthy, Cambodia 1999-2000: Land, Labour and Rural Livelihood in Focus (Phnom Penh: Cambodia Development Resource Institute, Working Paper 21, 2001)

Bruce McKenney and Prom Tola, Natural Resources and Rural Livelihoods in Cambodia: A Baseline Assessment (Phnom Penh: Cambodia Development Resource Institute, Working Paper 23, 2002)

Chan Sophal and Sarthi Acharya, Facing the Challenge of Rural Livelihoods: A Perspective from Nine Villages in Cambodia (Phnom Penh: Cambodia Development Resource Institute, Working Paper 25, 2002)

Kim Sedara, Chan Sophal and Sarthi Acharya, Land, Rural Livelihoods and Food Security in Cambodia: A Perspective from Field Reconnaissance (Phnom Penh: Cambodia Development Resource Institute, Working Paper 24, 2002)